

■主役は俺だ－2024年秋⑥

□関 叶翔（せき・かける） 東京農業大2年 QB

6月30日の室蘭工業大とのオープン戦。2年ぶりに1部に帰ってきた東京農業大にとって、晴れ舞台での戦い方を確かめる一戦で、新司令塔がいきなり見せた。第1Q3分、敵陣17ヤードからの攻撃で、QB関のパスがWR浅川夏暉（2年、東京・安田学園高）へ決まり、鮮やかな先制TDを挙げた。1部への挨拶代わりに2年生ホットラインの先制弾は、「前日から準備していたプレー。思った通りにいった」と関。その後、室蘭工業大に逆転を許すが、秋の本番に向けて手ごたえをしっかりとつかんだ一投だった。

茨城・日立北高では野球部の投手と外野手を務めた。鯨やアザラシなど海の哺乳類を勉強したいと入学した大学で、同じ学科の浅川に誘われたのがアメフト部だった。主将でエースQBの金井康晴（当時4年）が「格好良かった」と、すぐにQBに名乗りを挙げた。167センチ、61キロとやや小柄だが、「45ヤードは投げられる」という肩と走力にも自信を持つ。金井主将の指導を受けて昨秋は2部リーグの試合にも途中出場し、TDパスとTDランも決めた。「QBの難しさも感じた」というが、収穫十分のルーキーイヤーだった。



そして迎えた先発QBのシーズン。室蘭工業大戦の最初の攻撃シリーズは、浅川とWR木村拓海（3年、山形・上山明新館高）へのパスにランを交えて着実に前進し、仕上げが浅川へのTDパスだった。

「うちには良いレシーバーがそろっている。1部リーグでは、攻撃選手を生かすプレーコールをしたい。自分のランも含め、ランとパスをバランス良く使いたい」と、秋季リーグの青写真も出来上がった。「目標は3勝。2年前は未勝利と聞いているので」と、先輩たちの無念を晴らすつもりだ。（塚田博）

〈プロフィール〉

2005年1月11日、茨城県日立市生まれ。生物産業学部海洋水産学科2年。「走るのがうまい」とNFLカーディナルスのQBマレーを目標にする。